

最低賃金のお知らせ

ご確認ください

―職場を支えるあの人の最低賃金だいじょうぶ?―

高知県における最低賃金は、平成16年度の最低賃金改定審議の結果、次のとおり、高知県最低賃金が据置きとなり、電子応用装置、電子部品・デバイス製造業最低賃金は時間額が2円上げられることになりました。

高知県最低賃金

(平成14年10月1日)

時間額 611円

電子応用装置、電子部品・デバイス製造業

(平成16年12月30日)

時間額 704円

一般貨物自動車運送業

(平成10年12月30日)

〔大型貨物自動車運送業務従事者〕

日額 7,280円

時間額 910円

詳細等については、高知労働局賃金室(☎885-6024)又は最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。

流水俳壇

松尾 満津於 選

「当季雑詠」

北川 一深

ウォークの追い抜く若さ冬の汗(評)ウォークは歩くことを主眼とした行事である。この句は老若男女を問わず競歩を目的とした大会であろう。歩くことならまだまだ若い者には負けていけないと、張り切って出発はしたもののやはり歳は年、無造作に追い抜いてゆく若い体力、そのどうにもならないハンディに対する、仄かな羨望を「追い抜く若さ」と表現している。威勢よくダッシュして、やがてへばつてしまふのが往年の強者、それをゆつくり追い抜いていく若さ、年長は最初に勝負し、若者は最後に勝負する。ともかく完歩する事ができた満足感の中の冬の汗である。

竹崎 光子

朝めしの済んで農夫の頬かむり(評)「頬かむり」という些細な所作に作者の感情の溢れを感じさせられる句。頬被り

は寒い日に顔を温めるのに手拭などを用いてする顔の防寒である。むかしから山間の農民は朝役といって、ひと仕事を済ました後朝飯をとる習慣があり、それが当たり前の日常であった。この句の「朝めしの済んで」はそんな勤勉さが前提としてあるのだろう、その日予定されている農作業に向う山間農民の心構え、姿勢が見えており、さらりとした表現であるが懐旧のおもいを彷彿させる、何とも言えない温さを宿した句である。

片岡 包女

芋掘るも俄百姓靴履きて(評)「俄百姓」はサラリーマンの土・日曜農業であろう、農民の姿が様になつていない状態が「靴履きて」に凝縮されている。昨今はこんな農民が多く台頭し、専業農民の数より医師の数があるかに多いという統計数字がある。豊葦原の瑞穂の国と誇った日本ではあるが、この句のような農民があつてもおかしくない時代。世のすう勢を感じさせられる句である。

伊藤 たみ

身に合ひし年月かとも落葉踏む(評)気を張らぬ言葉ではあるが、自分の志向がそこはか

川村 博子
胸張って歩け歩けと
木の实降る
渡辺万利子
申年の不況不作や年の暮

ある。やや年たけた身を自然の中にとつぷりと浸して生まれた感傷の句である。万象のいずれと較べてもこの落葉ほどの確かな季節は見当たらない。「かとも」に思いがこめられており、一呼吸置いた表現が作者の平穏な生活を感じさせ、上五に据えた「身に合ひし」の心情には限りなく親しみをおぼえる。

岡本とも子
受け流す老の繰り言日向ぼこ
筒井 眉躬
山茶花や垣根に覗く白と赤
松尾満津於
冬うつらら朝日まぶしき
伯耆富士
次題「当季雑詠」
2月25日締切「五句」

川村千図子

広報いの一月号に校正ミスがありましたので訂正します。

三又路の橋も紅葉の景のうち
間 浩太

ご迷惑をかけしましたことを
おわび申し上げます。(松尾)

掃除機が吸い込む一円年の暮

訂正
紅草してダム湖となりし地震の村

首塚の故事は語らず草紅葉
友草 水月
中屋 桜子

正 友草水月(俳名のみ)
誤 友草寒月

日向ぼこ会話ももつぱら
孫自慢

脱句
人生にあとがきは無し末枯るる

髪切つてうなじ立冬の
筒井 文

問い合わせ・提出先
吾北教育事務所
いの町上八川甲2010
☎867-2133

風を知る
川上こよね

残り菊

撮つておけとだれ彼に云はれ

867-2133